

やまがた 学校給食だより



第11号
平成23年1月4日

【編集・発行】
財団法人 山形県学校給食会
〒990-0051 山形市銅町一丁目2番12号
TEL.023-622-0938 FAX.023-631-0961
<http://www.yamagaku.or.jp>

新春を 迎えて

常務理事兼事務局長
山名博和



新年、明けましておめでとうございます。
皆様には、穏やかな新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。
さて、昨年は記録的な猛暑が日本列島を覆うなど、天候不順の影響で野菜その他、食材価格の高騰がみられました。新年度までの給食運営に不安を感じられた学校給食関係者もいらっしゃったことと存じます。
私ども財団法人山形県学校給食会は、このようなときにこそ当会の役割を果たすべきだと考え、安定供給に努めてまいります。
子供たちの笑顔を願い、学校給食が教育活動の一環として、安心して実施されるよう、さらに頑張っけてゆくことが山形県学校給食会の使命だと思っております。
また、「食育」の推進を図るために各種研修会への支援や食品依頼検査、各種貸し出し事業など、学校給食普及充実事業の拡充に努め、公益法人としての使命を果たして参ります。
来年も、本会に対する変らぬご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



目次

- | | | | |
|-----------------------|-----|--------------------|---|
| ○新春を迎えて | 1 | ○「県内産」取扱い物資のご案内 | 6 |
| ○食品の価格動向と学校給食への影響について | 2~3 | ○普及充実事業 全国大会派遣補助事業 | 7 |
| ○食品検査室だより | 3 | ○学校給食用冷凍庫貸付事業について | 7 |
| ○学校給食用米穀について | 4 | ○新規取扱い物資 | 8 |
| ○つや姫給食について | 5 | ○編集後記 | 8 |

食品の価格動向と 学校給食への影響について



1 全体の需給状況について

日本経済は、いまだ昨年よりの緩やかなデフレ状況が続いています。物価の動向や円高を考えると、食品価格は横ばいに推移すると思われます。

しかしながら、急速に経済発展した中国をはじめとするアジア諸国、中南米諸国では食生活が豊かになって、肉食化が進んだ結果、家畜の飼料に使われる穀物の消費量が急増している状況です。またバイオエタノールの原料となる、とうもろこしを中心とした食用穀物供給量の減少や世界的な異常気象による農作物の不作などが発生している状況です。

国産の農産物においても、昨年春の多雨による日照不足と低温、夏の記録的な猛暑と異常気象が続いており、今後国産農産物の価格については安定性が懸念されるところです。

日本の食料自給率は40%で、食料の確保を輸入に依存していますが、新興国の人口増や経済発展に伴い、食料確保に対する不安感が高まりつつある状況です。

2 学校給食用物資について

(1) 一般物資について

学校給食関係者の間には、中国産農水産品について依然として不信感があり、国産品への志向が強い状況は続いております。日本の食糧自給率40%を考えれば今後も高値が続くそうです。

現に、夏の記録的な猛暑と異常気象により、国産農産物（とうもろこし、馬鈴薯、人参、玉葱、かぼちゃ、さといも、ほうれん草）が減産との情報が入っています。また、水産品についても海水温の上昇などの影響で漁獲不漁により価格高騰や、中国などの消費拡大により、国内加工用フィード原料は不足している状況です。

来年度4月以降についても、学校給食が求める

品質の農水産物は、品不足から価格上昇が懸念されます。

(2) 基本物資について

① 米穀の動向について

平成22年産米は作況指数100「平年並み」ですが、収穫量は平成21年産米を若干下回る予定です。しかし、需要減に起因する米余りや政府備蓄米の在庫も増えている状況です。また、全農山形の生産農家概算金（仮渡金）は「はえぬき60kg玄米」9,000円で前年度産米を下回っています。（前年度産米は12,300円）

全農山形の平成22年産米売渡し価格は、需給動向を反映して21年産米と比較して下落している状況です。

② 学校給食用精米の価格動向について

平成22年11月からの新米については、価格を下げ、1kg277円20銭で供給しています。（平成22年4月～10月分は306円60銭）

本会では、全農山形と価格交渉を行ない県内全市町村の米穀を一括購入しており、学校給食への特別な配慮をお願いしているところです。

平成23年度の精米価格については、米穀の需給動向をみますと、平成22年度末と比較して大きな変動はないと考えております。（平成23年度の精米加工賃や輸送費等の変動要因は不明です。）

③ 米飯の価格動向について

平成22年産の精米価格引き下げを受けて、平成22年度11月分からの米飯価格は引き下げて供給しております。（平成22年11月8日付け山学給第63号で通知済み）

平成23年度の米飯価格についても、平成22年度末と比較して大きな変動はないと考えております。（平成23年度の炊飯加工賃等の変動要因は現時点で不明です。）

④ パンの価格について

一般的な小麦粉の売渡し価格は国が毎月発表し、それをもとに毎月算定しています。それによると現時点では、平成23年度価格は約6.6%値上がりすると見込まれています。

また、副資材の脱脂粉乳は円高傾向にあるため若干値下がりし、砂糖に関しては、1kg約12円の値上げになりそうです。ショートニングについては、油の国際相場が上昇しており約11.5%の上昇を予想しています。

本会では、今年度内の価格については据え置きで供給しますが、平成23年度4月以降については、値上げになる可能性が大きいと思われます。(平成23年度のパン加工賃等の変動要因は現時点で不明です。)

⑤ 麺について

平成23年度の麺の価格については、パン同様小麦粉の値上げが見込まれておりますので、値上げになる可能性が大きいと思われます。

食品検査室だより

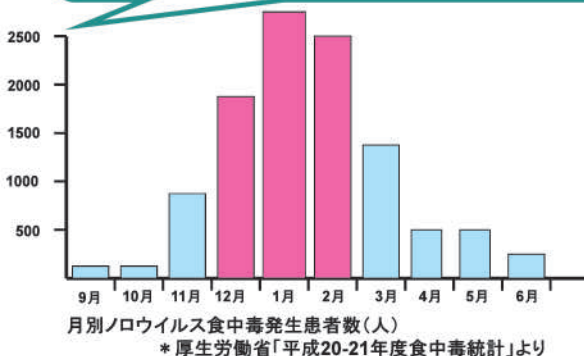
「衛生管理」の研修会開催

さる、平成22年11月18日、白鷹町学校給食共同調理場の皆様、16名が本学校給食会の研修室（3F）において研修会を開催致されました。白鷹町学校給食共同調理場では、児童・生徒の健全な心身の発達を目指し毎年、研修会を企画されています。

当日の研修会では、当会の松生主事が進行を行い、家人事務局次長、河合物資課長が挨拶を申しあげました。

研修会の内容は、食品検査室の高橋検査技師が「調理場における衛生管理について」さらに「白鷹町調理場調理器具等の拭き取り検査結果について」の2演題おおよそ1時間30分の講話を行ない、参加者は大変熱心で質疑応答も活発に行なわれました。一人ひとりの「衛生管理」に対する意識の高さが感じられました。

寒くなるこれからの季節
ノロウイルスによる食中毒が急増！！



食品検査実績

平成21・22年度
(4月～12月)

区分	対象物資	平成21年度 検体数	平成22年度 検体数	備考
本会取扱い 物資の検査	常温物資	403	301	その他 配送車、手 指拭き取り 検査、パン 抜き取り検 査、混入異 物の細菌検 査
	低温物資	170	132	
	冷凍物資	523	583	
	計	1,198	1,016	
	その他	102	139	
小計	1,198	1,155		
市町村共同 調理場学校 等取扱い 物資検査	希望する食 品手指、調 理器具等の 拭き取り検 査、その他	細菌検査 501 理化学検査 100	細菌検査 502 理化学検査 136	理化学検査 澱粉、蛋白 脂肪
	小計	601	638	
講習会等 における品質 管理指導	学校給食関 係者、市町 村、委託加 工場、その他	講習会 85名	講習会 185名	
合計	検査検体数	1,799件	1,793件	
	講習管理指導	85名	185名	

食品検査室では、衛生管理および衛生指導の一助として市町村共同調理場、学校からの依頼検査を受け付けています。希望される場合は、食品検査室までご相談下さい。

TEL 023-622-0938 食品検査室 高橋長一郎

学校給食用

米穀について



本会では、今年度も11月分からの『新米への早期移行』を行いました。(従来の政府米による制度では、12月分から新米に切り替わっていました。)

また、需給動向を反映して全農山形の平成22年産米売り渡し価格が下がったことにより、平成22年11月分からの新米は価格を下げて277円20銭で供給しています。(4月～10月分は306円60銭)

米飯についても、精米価格の引き下げを受けて、平成22年11月分からの価格を引き下げて供給しております。(100g 1食△2円94銭)

品質と信頼性の高い米の供給を行う為、金属探知機・色彩選別機・ガラス選別機・石抜き機・その他設備の充実した大型精米工場と委託加工契約を締結して安定供給に努めております。また、第三者機関の日本穀物検定協会に玄米時と精米時の2回の検定をいただき、品質管理体制の徹底を図り供給しております。

〔写〕

山学給 第63号
平成22年11月 8日

各市町村教育委員会 教育長
各市町村学校給食共同調理場長
各 県 立 学 校 校 長 様
山 形 大 学 附 属 小 学 校 長

財団法人山形県学校給食会
会 長 相馬周一郎

平成22年度学校給食用基本物資「精米・米飯(11月～3月分)」
の供給価格改定について(通知)

日頃、本会の事業につきましては、格別のご理解をいただき感謝申し上げます。
さて、学校給食用米穀につきましては、全国農業協同組合連合会(全農)のご理解とご協力を得て県内同一価格による安定供給に努めておりますが、このたび22年産新米の供給に当たり、下記のとおり価格を改定することになりましたので、お知らせいたします。
本会といたしましては、公益法人として可能な限り保護者負担の軽減に努め、安定供給に努力して参りますので、よろしくご了承下さるようお願いいたします。

記

1 学校給食用精米(1kg) [ビタミン強化米0.3%混入代金含む]

現行価格 (4月～10月分)	改定価格 (11月～3月分)	比較
円 銭 306.60	円 銭 277.20	円 銭 △ 29.40
292.00	264.00	△ 28.00

2 学校給食用米飯(委託炊飯用)

区分	現行価格 (4月～10月分)	改定価格 (11月～3月分)	比較
	円 銭	円 銭	円 銭
50g	50.21	48.74	△ 1.47
	47.82	46.42	△ 1.40
60g	53.28	51.51	△ 1.77
	50.74	49.06	△ 1.68
70g	56.34	54.29	△ 2.05
	53.66	51.70	△ 1.96
80g	59.41	57.06	△ 2.35
	56.58	54.34	△ 2.24
90g	62.48	59.83	△ 2.65
	59.50	56.98	△ 2.52
100g	65.54	62.60	△ 2.94
	62.42	59.62	△ 2.80
110g	69.72	66.49	△ 3.23
	66.40	63.32	△ 3.08
120g	72.79	69.26	△ 3.53
	69.32	65.96	△ 3.36

本価格表は、太字で総額(消費税込価格)を表示し、
細字は税抜価格を表示しております。

つや姫給食について

今年度秋本格デビューし、県・地域を挙げて生産振興・PRに取り組んでいる期待の新品種『つや姫』のおいしさを知ってもらおうと、10月より「つや姫給食」を各市町村で実施いたしました。(別表のとおり)

児童・生徒達は「つや姫はもちもちしておいしい」「きらきらしている。かめばかむほど甘い」「米粒がつやつやしておいしい」「粒が大きい」と笑顔でおかわりしていました。

	市町村名	実施期間
1	寒河江市	平成22年10月28日
2	河北町	平成22年10月28日・10月29日
3	庄内町	平成22年10月28日・11月17日
4	大江町	平成22年11月9日・11月11日・11月12日・11月15日・11月16日
5	鶴岡市	平成22年11月17日・11月18日 平成22年12月3日・12月10日
6	酒田市	平成22年12月8日・平成23年1月26日

市長さんや
お客さんも
いらっしやり
緊張しました。



つやがあって、
ごはんが
光っていました。

さめても
おいしい。



平成22年11月18日(木) 鶴岡市立朝陽第二小学校 「オール鶴岡産地産地消学校給食・つや姫給食」風景

普及充実事業 全国大会派遣補助事業

山形県学校給食会では、本年度より本県学校給食の普及充実を図るために「学校給食普及充実・食育推進支援事業」をたちあげましたが、その一環として、学校教諭・学校栄養職員等を食育推進に関する研修会に派遣し食育の推進者としての資質向上を目指しております。

○第51回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会

8月5日～6日過去最高の猛暑の中、「第51回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会」が和歌山市民会館を主会場に開催され、(主催：文部科学省、和歌山県教育委員会、和歌山市教育委員会、(社)全国学校栄養士協議会、(財)和歌山県学校給食会) 栄養教諭・学校栄養職員を中心に全国から学校関係者約900名が参加致しました。

**大会主題は『栄養教諭を中核とした学校における食育の推進
～紀の国わかやまから食育の風を全国に～』**

本会からの研究大会への派遣者として栄養教諭・学校栄養職員4名が参加致しました。



○第61回全国学校給食研究協議大会

11月11日～12日、「第61回全国学校給食研究協議大会」が香川県高松市サンポート高松を主会場に開催され、全国から約1,000人の栄養教諭・学校給食関係者が参加し、盛大に開催されました。(主催：文部科学省、香川県教育委員会、高松市教育委員会、全国学校給食会連合会、(財)香川県学校給食会)

**大会主題は『「生きる力」をはぐくむ食育の推進と学校給食の充実
～未来につなぐ心と体は食にあり～』**

本会からの研究協議大会への派遣者として栄養教諭・学校栄養職員3名が参加致しました。



大会の中で平成22年度学校給食文部科学大臣表彰式典が行われ、全国の47施設、17個人に対して、長年、学校給食の普及発展に功績があったとして表彰状を授与され、本県からは次の方が受賞されました。

受賞者(敬称略)

- ・団体：遊佐町立遊佐小学校
- ・個人：遊佐町立遊佐小学校栄養教諭 池田陽子

今後ますますのご活躍・ご発展をご期待申し上げます。

学校給食用冷凍庫貸付事業について

この事業は、昭和51年より始まり山形県学校給食会で毎年予定台数を決め、予算を組んで購入し学校給食実施校又は、学校給食共同調理場等に無償貸付しております。

現在、県内に192台の冷凍冷蔵庫を設置している状況です。

また、今年度は10台の予定台数(冷凍庫のみ)でご案内した結果、一覧表のとおり(700ℓ型3台、1,400ℓ型1台)合計4台の冷凍保管庫を設置いたしました。

●平成22年度学校給食用冷凍保管庫設置一覧表●

設置学校・センター名	冷 凍 保 管 庫			
	300 ℓ	500 ℓ	700 ℓ	1,400 ℓ
村山市立戸沢小学校			1台	
大石田町学校給食センター				1台
金山町学校給食共同調理場			1台	
遊佐町立遊佐小学校			1台	
計			3台	1台
合 計	4台			

新規取扱い物資



北海道トマトジュース
シーズンパック 1kg



ゴールデンチャツネ
450g



佃煮名人
285g



ポイルアケル
1kg



トロあじ赤味噌煮
40g・50g



トロあじ味噌煮
40g・50g



ほうれん草と鶏レバー入
メンチカツ 40g・60g



サックとクリーミー
コロッケ(カニ) 55g



サックとクリーミー
コロッケ(コーン) 55g



白糸だら竜田揚げ
40g・50g



豆腐しゅうまい
28g



桜えび入り厚焼玉子
50g



ファイバーゼリー
(アブリコット) 45g



果物の恵み林檎のジュレ
50g



たまごプリン
60g



ヤクルト元気ヨーグルト
70g



山形県産秘伝豆入りタルト
30g



はちみつりんご入フルーツ杏仁
40g

編集後記

このたび「やまがた学校給食だより」第11号を発刊することになりました。これからも新たな気持ちで、安全・安心かつ良質な物資の安定供給をめざすとともに、学校給食の普及充実に関する事業に取り組みたいと思いますので、よろしく願いいたします。

今後とも、皆様からのご協力をよろしくお願い申し上げますとともに、ご意見・ご感想をお待ちしております。



<http://www.yamagaku.or.jp>

検索

